

## 日経平均 3 万円の地合いが整ってきたのか？

横山 泰史

業種:日本株ストラテジー

### 足元の上昇相場はやや楽観的だろう

先週金曜日の日経平均は、2万8546円となり、終値で1月12日以来となる高値を付けた。日経平均は5月、6月と下値を探る展開だったが、7月に入ると様子は様変わりしてリバウンド相場を迎えた。日経平均は、直近安値となった6月20日の2万5520円から先週末には2万8546円と上昇幅は+3026円(+11.9%)とり、昨年末(21年12月30日)の終値であった2万8791円とほぼ肩を並べる水準となった。今年前半の日経平均は、ウクライナ情勢、米国の利上げ、原油高などによって調整局面を迎えていたが、予想以上に早く戻した印象である。タイトルとしている日経平均3万円については、その可能性もあるとはみるも、足元の上昇相場はやや楽観的だろう。

### 22年4-6月の決算はやや弱い印象

先週までに主要企業の第1四半期(22年4-6月)の決算がほぼ出揃った。日経平均構成銘柄の決算は、辛うじて合格点を与えられる内容で、一部では苦戦した印象である。具体的には、①上海ロックダウンの製造業への影響、②スマホ、PC販売の不振による電子部品業界への影響、は想定を上回るものであった。欧米で景気後退の兆候が見られることを考えると、当面の日経平均は、昨年末の水準を大きく突き抜けて、3万円を目指す上昇相場を形成するには時期尚早とみている。

### 円安と自動車生産の回復に期待

もともと、22年4-6月期の決算の足枷となった上海ロックダウンだが、この影響も6月以降は急速に回復しているとコメントしている関連企業も少なくない。新型コロナの行方は不透明であることから今後の予想は難しいが、22年7-9月期以降は回復が期待できそうである。そして、注目したいのが、トヨタの通期の生産予想である。22年4-6月期は半導体不足と上海ロックダウンにより大幅な生産調整を強いられたが、22年7-9月期から回復に向かい、22年10-12月期、23年1-3月と尻上がりに生産は上向き予想である。トヨタの生産が来年1-3月に正常化するとすると、他の自動車メーカーも若干は遅れながら、来年の春先から夏場までには生産が正常化することが予想される。自動車は日本の基幹産業であり、裾野が非常に広いことで知られる。来期の為替相場が1ドル130円を上回る円安であるようならば、自動車の生産回復期待と合わせて日経平均3万円が視野に入ってくるとみている。

### 東京市場マーケットデータ

2022/8/12 現在

日経平均	2万8546円
プライム売買代金	3兆7126億円
プライム時価総額	710兆8871億円
日経平均予想PER	12.8倍
日経平均PBR	1.2倍
日経平均配当利回り	2.4%

出所: Quick

### 日経平均パフォーマンス

年初来高値	2万9388円	2022年01月05日
年初来安値	2万4681円	2022年03月09日

出所: Quick

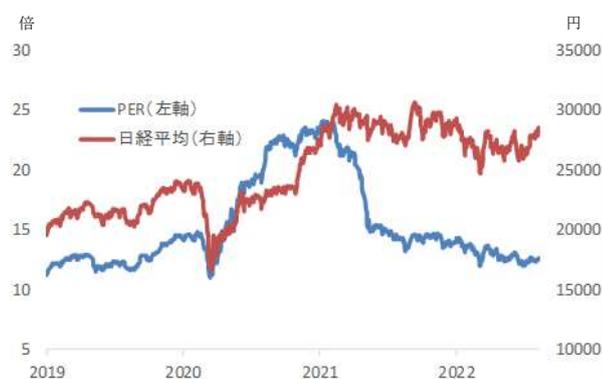
### 国内株式売買代金ランキング

2022/8/12 現在

	株価前日比
1 ソフトバンクグループ	5.5%
2 レーザーテック	1.5%
3 東京エレクトロン	4.5%
4 ファーストリテイリング	1.9%
5 トヨタ	2.2%
6 日本郵船	1.6%
7 キーエンス	4.4%
8 ソニーグループ	2.1%
9 ファナック	5.8%
10 三菱 UFJFG	1.9%

出所: Quick、アイザワ証券作成

### 日経平均と予想PERの推移



## 金融商品取引法に基づく表示事項

### ■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

### 株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

### お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合は 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合は 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

### アイザワ証券 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

